

加工・業務用にカット野菜を販売

マーケットインで農家の所得向上・安定に貢献

JA全農とキューピー(株)が共同出資 (株)グリーンメッセージ設立

JA全農はキューピー(株)との共同出資で、業務用サラダ野菜メーカー「株式会社グリーンメッセージ」を設立し、平成27年5月から販売を開始しています。鮮度管理を徹底した国産野菜をカット加工し、千切りキャベツやカットレタス、グリーンリーフなどを販売。マーケットイン(需要に応じた生産・販売)を実践しています。

近年、中食や外食などでの消費が増え、特

に野菜は加工・業務用の需要が全体の6割近くを占め、その中でも洗浄済みで、そのまま調理や店舗で提供できる業務用カット野菜は、需要が急速に拡大。同社の本社工場(神奈川県大和市)では現在、月間130トンの商品を出荷しています。

市場ニーズを的確にとらえた商品開発や原料調達が確立できれば、国産野菜活用を加速

させ、国内産地の維持・拡大につながります。こうしたバリューチェーンの拡大が農家の所得向上・安定に結びつきます。併せて契約販売や出荷規格の簡素化などを実現すれば、収入の安定と生産コストの削減も期待できます。

JA全農は、グリーンメッセージを通じてより多くの消費者に、おいしい国産野菜を提供していきます。



業務用サラダ野菜メーカー「グリーンメッセージ」

全農が進める「たくましい農業づくり」をシリーズで紹介します。